



# 小正っ子だより



小正小学校だより

平成28年度1学期号

## 授業参観・学校公開日へのご参加ありがとうございました。

4月21日に授業参観、後援会・PTA総会、学級懇談会を、6月12日には学校公開を行いました。学校公開日には、保護者の方々のご協力により、緊急引き渡し下校訓練を無事終えることができました。多数のご参加ならびにアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。いただいた意見を踏まえて今後の教育活動を進めていきます。

今年度も、学習指導とともに、思いやりの心や、友達と仲良く協力する態度を育てていくことに重点をおいて指導をしていきます。また、子どもたちの健やかな成長のために、学校と家庭、地域の方との協働による様々な取組を進めていきます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。今回は、「異学年間のふれあい活動」をご紹介します。

### 1年生と仲良くする会(全校)



[じゃんけん列車]



[学校〇×クイズ]

本年度最初の児童会行事として行いました。1年生と2～6年の交流を深めました。児童会役員だけでなく、1年生の引率担当(6年生)やアーチ係(4・5年生)、全校合唱でみんなの前で歌う歌声リーダー(2・3年生)など、多くの子が自分の役割をしっかりと果たし、会を盛り上げました。全校遊びの「じゃんけん列車」では、学年関係なく多くの友達と交流し、親睦を深めることができました。

### ふれあい読み聞かせ(1・6年生, 2・5年生)



[5年生の読み聞かせ]



[6年生の読み聞かせ]

本校では、子どもたちが本に親しむことをねらいとして、読書週間を設定しています。その中で、高学年による低学年への読み聞かせを行っています。1学期は6年生が1年生に、5年生は2年生に読み聞かせを行いました。「難しい」と言いながら、高学年の子は一生懸命取り組み、低学年の子も真剣にお話を聞いていました。読み終えた後は、みんな笑顔になりました。2学期も実施する予定です。

### 学校探検(2年生が1年生を引率したよ)



[理科準備室にて]



[廊下で打ち合わせ中]

2年生が1年生を案内して、学校を案内しました。1年生は毎日の学校生活を過ごす1階だけでなく、高学年のフロアや普段入る機会がない特別教室を見ることができました。2年生も1年生の手をひいて、親切に案内することができました。今まで、上の学年の子から教えてもらっばかりでしたが、お兄さん、お姉さんとしての自覚をもつ、よい機会となりました。

### 全校遊び「みんなで逃走中」



[運動場全体を使って]



[ハンターから逃げろ!]

小正タイム(2限放課)に児童会の企画・運営のもと、全校児童による遊びを行いました。「逃走中」は鬼(ハンター)から逃げる鬼ごっこです。ゲームの途中で行われる「ミッション」を成功させないとハンターが増えるので、逃げる側はハラハラドキドキです。高学年のハンターは、低学年の子をすぐに捕まえず、逃げる楽しさを味わわせながら、追いかけていました。全校で楽しく交流することができました。

### ふれあい給食

7月には、1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生がペアを組んで、給食を一緒に食べる「ふれあい給食」を行いました。2学期以降も児童相互が理解を深め、良好な人間関係が築けるよう、ふれあい交流活動を計画・実施していきます。

## 保護者の方よりいただいたご意見

たくさんのおたより、本当にありがとうございました。以下に、ほんの一部ですが、紹介させていただきます。

### 芸術鑑賞会を参観して

「光や音に反応し、楽しく感動している子どもたちの姿を見ることができ、本当によかったです。今まで市民会館でしたが、学校での鑑賞会も間近でみることができ、子どもたちの反応もよかったですと思います。アラジンのお話では、『人を思いやる気持ちを大切にしよう』という、人として大切なことを改めて学ぶことができました。

### 児童学校保健委員会に参加して

「とても『劇』がよかったです。実際に家庭でもあることだったので笑えました。子どものストレスには、かなり気をつけているつもりですが、親の私がストレスを与えていることに気づき、気をつけようと思いました。

最後のリラクゼーションも是非、家庭でもやってみたいです。まず、親から笑顔になれるよう、今日のことを参考にしたいと思います。

### 交通安全教室に参加して

「横断歩道を押して渡ることは、大人もなかなかやらないため、子どもたちもやらないことが多く、気をつけなければならないことだと思いました。スクールガード、パトロールのみなさんの日々の見守りに感謝しています。」



### ☆その他(学年だより・コメント欄の声より)

「先日の児童会行事『逃走中』は数日前より楽しみにして、兄弟でも共通の話題として盛り上がっていました。全校児童でおこなったゲームをとても楽しむことができたようです。体育の授業や小正タイムに上級生と一緒にドッジボールをした話など、印象に残っている話を楽しげに話してくれます。

学習面では国語で短歌を覚えたり、難しい漢字も増えてくる中、宿題に取り組む姿に感心しています。お友達と刺激し合い、楽しみながら、たくましく日々成長することを願っています。

「『読み聞かせ』を毎回楽しみにしているようです。6年生の子の読み聞かせを喜んでいました。プラスワンでは、『缶蹴り』『昔の遊び』など、体験したことのない遊びができてとても喜んでいました。本人は、『またやりたいなあ〜』と言っています。

先日のふれあい給食をとても楽しみにしていました。当日も、『しりとりをして遊んだんだよ!』と喜んでいました。また、音楽の授業の話もよくしてくれます。新しい歌を覚えると、『こんな歌を覚えたよ』と言って、家で歌ってきかせてくれます。」

「小学校に入学してから、字をゆっくり、丁寧に書くようになり、上手になってきたと思います。娘は学校も児童館も楽しいと言ってくれるので、安心しています。

学校での出来事も色々話してくれますが、なかなかゆっくり平日は話をすることができないので、もう少しゆっくり話せる時間を作ってあげたいと思っています。

「『サッカーの試合に負けて泣いたこと』、『成績を上げるために授業をしっかり聞いていると明言したこと』や『社会のドリルを買って自主的に勉強を始めたこと』など、少しずつですが、物事に意欲的になってきたような感じがします。」



「公開日でのりんごの皮むきが印象に残っています。1週間前から練習を始めましたが、最初は包丁を持つことすら怖く、なかなか進まなかったのですが、当日は決して上手ではないけれど、一生懸命取り組んでいる姿に頑張りを感しました。クラスみんなが真剣に取り組んでいてよかったと思います。すぐにあきらめてしまうところがあるので、これからも何事にも前向きに頑張ってもらいたいです。」

「保健委員の活動や、野外教育活動の劇のシナリオ作りや演技などに真剣に取り組む、何かを作りあげるといった行動を見て、責任をもってやり遂げることができるようになったんだな…と子どもの成長を感じています。子ども自身が何かを考えてやり遂げるといった活動の機会はとても大事だと思います。」



「私の務める若手社員が手紙や郵便の出し方が分からず、家庭で話題にしたところ、我が子も分からないとのことでした。電子メール、携帯電話(スマホ)の普及により、手紙やはがきを出すことがなくなったばかりでなく、個人情報の保護などにより、友人間のやりとりも失われつつあります。しかしながら、社会へ出ると通用しません。「はがき名文コンクール」、「暑中見舞いはがき」、「年賀はがき」など、日本人としての文化を体験することが可能です。機会を通じて、日本語の美しさ、相手への表現方法、社会勉強を授業として取り入れてはいかかでしょうか?」